



豊田市立萩野小学校たより

第336号 令和7年9月26日発行

萩野の子



学校 HP 携帯サイト



夏丸さんと川に学ぶ会

9月3日

親

ハギノショウ

本校の伝統的行事「夏丸さんと川に学ぶ会」も13年目を迎えました。講師は絵本作家阿部夏丸さんです。夏丸さんは本校の特色ある学校づくり推進事業として実施しておりました「読書講演会」の平成25年度講師でいらっしゃいました。これをきっかけに毎年この時期に足助川で子どもたちと一緒に魚とりを楽しみながら、魚の種類や自然環境を守ることの大切さを教えていただいています。

当日は天候に恵まれ、全員の子もたちが参加して、川で思う存分遊びました。アクアスコプで水中を見ると魚が泳いでいるのがよく見えます。子どもたちは、たもやつりざおを使って必死で魚を捕まえました。「夏丸さん、つれたよ。」と嬉しそうに報告していました。ある子が、「こんなのがとれました。これ、何ですか。」と聞くと、「これはめずらしい。何年かぶりに見た。」と夏丸さんが絶賛してくださった生き物は…ミズスマシでした。この生き物は、目が4つもあるそうです。水面より上に2つ、水面の下に2つあり、敵から身を守るために、水面の外と水中を同時に見ていることを教えていただきました。



魚とりに満足した後は、流れに身を任せて浮いたり、足をばたばたさせて水しぶきを上げたりして川遊びを楽しんでいる子もいました。今年は、水泳授業が2回しかできなかったのもので、その分、水につかる気持ちよさをたくさん感じる事ができたようです。

夏丸さんは、「とにかく子どもたちを川で遊ばせてください。先生たちがやることを決めてはだめ。子どもは自分たちで考えて遊ぶから。そして、この体験が積み重な

り、大人になったとき、川の楽しさを知っているからこそ、それを次の世代に伝えようとしてくれる。」と話してくださいました。子どもたちに川遊びの楽しさを教えてくださり、本当にありがとうございました。また、子どもたちが楽しく安全に活動できるように、地域コーディネーターやボランティアの方に草を刈ったり、子どもたちの活動を見守っていただいたりしました。ご協力に感謝いたします。



走り方教室

9月11日

伸

ハギノショウ

オリンピックの青戸慎司氏を迎え、「走り方教室」を実施しました。本校には毎年来校して走り方を教えてくださるので、「あおちゃん」の愛称で子どもたちも慕っています。速く走るには、技術を身に付けるとともに精神面でも鍛えなければなりません。練習を始めるにあたって、「無理、できない、しんどい…などのマイナス言葉は禁止。では、どう言えばいいかな？」と子どもたちに問いかけられました。『『できる、できる。』と自分に言い聞かせてみよう。』と前向きにがんばることを教えてくださいました。技術面では、腰を伸ばして姿勢よく、手を直角に曲げて目の高さまで振る、そして、後ろまで振る、手は、生卵をつぶさないように軽くにぎることなどを教えてくださいました。子どもたちは、走るコツを覚えようと真剣に練習に取り組みました。スポーツフェスティバルでは、今回学習したことを生かして、力いっぱい走ってほしいと思います。



東広瀬小学校との交流（都市と山間交流）

9月17日

心

ハギノショウ

豊田市の特色ある学校づくり推進事業・都市と山間交流として今年も東広瀬小学校の1年生と交流しました。今年度の1回目は、東広瀬小学校に全校児童で行きました。音楽の授業では、校歌を披露し合いました。本校は少人数ですが、堂々と歌うことができました。音楽の授業では、鍵盤ハーモニカ、リコーダーで、音色の重なりを感じながら演奏することができました。昼食は、グループごとに分かれての弁当でした。楽しく会話しながら、お家の方に準備していただいた弁当をおいしそうに食べていました。午後からは、萩野小が企画した「モルック遊び」を行いました。高学年の児童が、準備やゲームの説明で大活躍しました。ゲームが終わるころにはすっかり仲良くなりました。2回目は、12月に本校に東広瀬小学校の1年生を招いて行います。



芸術鑑賞会

9月24日

伸

ハギノショウ

「へき地・小規模校芸術鑑賞会」が足助交流館で行われました。この事業は、愛知県及び豊田市の「へき地教育振興補助事業」の一環として実施され、児童が本物の芸術や文化に触れることで、豊かな創造性や情操を培うことを目的としています。

劇団うりんこ「カドヤ食堂のなぞなぞ」を鑑賞しました。笑いあり、迫力ありのとても楽しい劇でした。萩野小学校の児童は、公共の場でのルール、鑑賞のマナーを守り、とても素晴らしい態度でした。



※劇団から撮影許可を得ています